

風水害等に備えて

大雨情報をキャッチ! こんなときのわが家の安全対策



大雨注意報・警報・特別警報(浸水害・土砂災害)の発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合

大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合

左記に併せて、
洪水注意報・
洪水警報が発令されます。

水害時の心得

被害の軽減

扉の下の隙間から汚水が入ってくるので、「土のう」や板などで前面を囲み、タオルで隙間をふさぎます。
また、ボリタンクなど軽い物は事前に屋内に移しましょう。



危険なところには近寄らない

切れた電線のそばなど、危険な場所に近寄らないようにしましょう。
また、氾濫水には汚水が混ざっているので、子供などがわらなないように気をつけましょう。



避難の呼びかけに注意を

危機が迫った時には、防災行政無線や広報車などから避難の呼びかけをすることがあります。
呼びかけがあった場合には速やかに近所に声掛けしながら避難しましょう。



動きやすい格好で

動きやすい服装で、軍手をはめ、ヘルメットがある場合はかぶり、はき物は水に浸かっても歩きやすいものを選びましょう。
レインコートは上下が分かれているタイプで目立つ色のものがよいでしょう。



水面下は危険です。2人以上で避難を

浸水した場所を歩く時は、長い棒を杖がわりにして、マンホールや側溝がないか水面下の安全を確認し、2人以上の行動を心がけましょう。



歩ける深さ男性約70cm、女性約50cm

洪水の場合、歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmまで。
それ以上になったら高い場所で救助を待ちましょう。



避難の前に確認を

避難する時は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、床下の通気口などをふさぎ、戸締りを確認しましょう。



避難所までの移動

車での避難は、歩行者・緊急車両の妨げになります。
また、浸水すると動かなくなるので使わないようにしましょう。
風雨が激しくなる前に車両または徒歩で避難しましょう。風雨が激しくなってきたときは浸水の恐れがあるので車両ではなく徒歩で避難しましょう。



土砂災害の種類

土砂災害は大きく分けてけがれ・地すべり・土石流の3種類があります。

けがれ・山崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなったりした斜面が突然崩れ落ちる。日本で最も多い土砂災害で、人家の近くでも発生するため、逃げ遅れて犠牲となる人も多い。

主な前兆

- けがれからの水がにごる
- 地下水やわき水が止まる
- 斜面がひび割れ、変形がある
- 小石が落ちてくる
- けがれから音がする
- 異様においがする



地すべり

脆弱な地質の土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が地下水の影響と重力で下方へ移動する現象。一度に広範囲で発生するために、住宅や道路などに大きな被害をおよぼす。

主な前兆

- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水がにごる
- けがれや斜面から水がふき出す
- 家やよう壁に亀裂が入る
- 家やよう壁、樹木、電柱が傾く



土石流

谷や斜面にたまつた土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出す。強大な威力と圧倒的なスピードで、進行方向にあるものを次々と飲み込み、壊滅させていく。

主な前兆

- 山鳴りがする
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる
- 川の水がにごったり、流れが混ざったりする



危険箇所をチェックしよう

勾配が30度以上あるのがけは、大雨により崩れる危険性が高い場所です。

また、けがれや盛り土の崩落を防ぐためのよう壁も、その構造や築年数の経過によっては崩れる危険性があります。
日ごろから家の周囲をよく見て、危険箇所がないかチェックしておきましょう。

こんな崖に注意!!



こんなよう壁に注意!!



土砂災害警戒情報とは

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに警戒を呼びかける情報で、千葉県と気象庁が共同で発表しています。

周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報等が発表されていても、危険を感じたら、躊躇することなく自主避難をしましょう。

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

住民等の生命又は身体に危険が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

住民等の生命又は身体に著しい危険が生ずるおそれがあると認められる土地の区域

気象庁 <http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>



鎌子市の主な台風被害

昭和46年9月 台風25号襲来

瞬間最大風速49m、降雨量369.5mmを記録
死者10人、負傷者26人、住宅の全壊32棟、半壊52棟、一部壊損1,031棟
その他、道路決壊、崖崩れ、橋りょう損壊など、戦後最大の台風被害

平成8年9月 台風17号襲来

瞬間最大風速51.9m、降雨量206mmを記録
住宅の一部壊損58棟、床上浸水43棟、床下浸水133棟
その他、道路決壊、崖崩れ、橋りょう損壊など

令和元年東日本台風(19号)
の接近に伴う集中豪雨
住宅の床上浸水25棟、床下浸水69棟



鎌子瓦販売工業組合



千葉県北東部は度重なる台風、地震等の自然災害に直面してきました。私は地元の気候、風土を考慮した災害に強い施工を行っております。

屋根工事のご相談、ご相談、質問等、ご用命は下記組合員までお気軽にお問い合わせください。

伊東屋根工業(有)	黒生町7340-3	TEL.22-1600	庄司瓦店	黒生町6715	TEL.22-1924	広田瓦店(株)	黒生町7368	TEL.24-5280
加瀬瓦店	黒生町7372	TEL.22-1599	庄司瓦工業	旭市1147-26	TEL.0479-62-3605	丸山建材	黒生町7129-2	TEL.22-0040
加藤瓦店	清川町2-1133	TEL.22-2666	田仲瓦店	高野町46	TEL.23-2039	宮伊玖(合)	黒生町7374	TEL.22-1604
金杉新宅瓦店	愛宕町2965	TEL.22-6795	鎌子セメント工業(株)	黒生町7379	TEL.22-1045	宮川工業所(有)	黒生町7306-2	TEL.22-1601